

TEL (2) 8106



広報せき

Seki Gocoro

2023
11

No.1753

関市公式
YouTube
チャンネル



巻頭
特集

つながり あるく まちめぐる



Seki Gocoro 11

SEKI City Community Magazine

TOPICS

- 工場参観日 6-7P
- 令和4年度決算 16-17P
- INFORMATION 18-37P
- 子育てカレンダー 39P

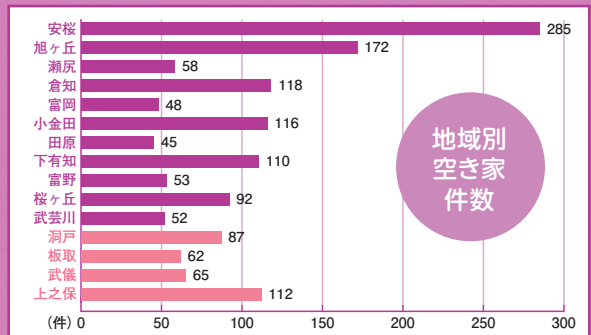
つながり ありく まちめぐる

市街地中心部に残るまち並みを生かして、歩いて楽しい空間づくり



地域別空き家件数をみると、安桜・旭ヶ丘地区の市街地中心部付近で空き家が多く集中しています。

市では、空き家・空き地を活用した施設や遊歩道の整備など、まちに残る資源を活用しながら、新しい交流の場を整備しています。



空き地活用



チャレンジショップ 本町BASE

連日、販売やイベントなどが行われています。気軽に立ち寄ってみると、新しい出会いが見つかるかもしれません。

空き家活用



地域の交流の場 古民家あいせき

誰でも自由に利用することができます。普段は、学生の自習やおしゃべりをする場として、賑わっています。

空き地活用



ふれあい広場 ひねもすぽっと

大きなベンチで一休みをすることができます。夜は足もとがライトアップされ、昼間とは違った雰囲気を楽しめます。

空き店舗を活用したマルシェ 「セキ日和」実行委員会

平野 祥さん

福田 風香さん



は何とも思わなかった商店街の風景も、生かし方によってすごく魅力的に見えた」という意見が聞かれました。そういった声が「セキ日和」の目指す先につながっていると話します。

平野さんは「今後向かう先は、今ある建物を残していくことです。イベントを通して、関市の魅力を再認識してもらい、まちを歩く人が増えることによって、関市ならではの景色やお店を残していけるように取り組んでいきたい」と力強く話しました。

今ある建物を残していきたい
市街地中心部の魅力に気づいてもらおうと、まち歩きをしながら気になる風景などを写真に収めるワークショップや空き店舗・空き地などを活用したマルシェの開催行う「セキ日和」実行

委員会の二人。
「昔の景観が残されていて、今ある建物やまちのつくりに残れているのが関市の魅力」と話します。
そんなまち並みを生かして6月にマルシェ「セキ日和」が開催されました。地元の人からは「昔

まちを知るお店の人たち

Thrifty 河村 茂芳さん

お店は築100年以上の部分がそのまま残っています。昔の家屋を利用することは都会ではできないことだと思います。イベントで活用したり建物をリフォームしたり、元々ある建物を生かすことは大切なことだと思います。



かねやセトモノ店 吉田 耕三さん

昔の商店街と比べると人通りは減りました。イベントがあるとお店に立ち寄る方が増えます。「セキ日和」のイベントのように、新しい若い人がどんどんやってきていただけるとうれしいです。



北村酒店 北村 敏郎さん

「セキ日和」イベントの日は、本町通りにたくさんの方が来ていました。賑わう様子を見ると、イベントをやっていないといけないと思います。商店街の活性化を目的にイベントを残していってほしいです。



セキ日和

6月3日、4日の二日間で開催された本町通り商店街の空き店舗や空き地を活用したマルシェ。日常の様子と変わり、イベント当日の空き店舗や空き地を活用した店舗の様子を紹介します。



〈日常の様子〉



〈セキ日和の様子〉

空き家の土間をお借りしてティースタンドを出店しました。以前から本町商店街のレトロな雰囲気の魅力を感じていました。住民を含めた多くの方のご協力、ご縁やタイミングが重なって形になったイベントだと思えます。

◆出店者
無題 戸高翼さん



〈日常の様子〉



〈セキ日和の様子〉

元お寿司屋の空き店舗をお借りして古本屋を出店しました。マルシェというとテントが立ち並ぶイメージですが、「セキ日和」は今ある建物を生かして、日常の風景を壊さないところが他にはない魅力でした。

◆出店者
住職書房 藤原亮さん



〈日常の様子〉

駐車場がイベントスペースに!!



〈セキ日和の様子〉



〈日常の様子〉

シャッターが閉まっていたお店も大繁盛!!



〈セキ日和の様子〉

ワークショップ

5月13日と9月30日に行われたワークショップでは、昭和の雰囲気が残るまちなかをチームに分かれて歩きました。



昭和レトロな風景を写真に収めて



好きな景色や残したい景色を写真に収め、それぞれ感じたまちの魅力を共有しました。

まち歩きをしながら魅力を知る

歩いてめぐる まち歩きイベント

刃物のまちせき まちめぐりスタンプラリー

アプリを使って、6つのチェックポイントをめぐり、スタンプを集めて、関市のご当地グルメ「うなぎ」を当てましょう。



- 期間** 10月1日(日)～11月30日(木)
- 応募条件** まちめぐりチェックポイントをめぐり6つのポイントを集めて応募ができます。
- 応募方法** デジタルスタンプラリー応募フォームからお申込みください。
- 商品** うなぎお食事券5,000円分
- 当選者数** 40人
- 当選発表** お食事券の発送をもってかえさせていただきます。
- 商品発送** 11月30日(木)のラリー最終日から1か月程度を予定しています。
- 照会先** 都市計画課 ☎23-6734



参加はこちらから▶

まちを歩くマルシェ 「歩く、せき市」

市街地中心部の空き地、空きスペースに、暮らしを「特別に」、より「豊かに」する、フード、アート&クラフト、ファッションなどのお店が約60店舗出店します。



- 日にち** 11月18日(土) ※小雨決行
- 時間** 午前10時～午後4時
- 場所** ひねもすぼっと、関川沿い市道など
- 主催** セキ日和実行委員会
(事務局 都市計画課 ☎23-6734)



関鍛冶伝承館連続企画展 「刃物のまち関と鍛冶の700年～明治から現代まで～」

時代によって変貌をとげる関のまちの変遷について、刀剣や地図といった資料から紹介します。「近現代」「近世」「中世」と順に時代をさかのぼる3年連続のシリーズとして企画し、初年度となる今回は明治時代から現代までの「近現代」をテーマに開催します。

- 期間** 11月18日(土)～令和6年1月28日(日)
- 時間** 午前9時～午後4時30分 ※入館は午後4時まで
- 場所** 関鍛冶伝承館2階 第1展示室
(サテライト会場 古民家あいせき)
- 入館料** 大人 300円 高校生 200円 小中学生 100円
- 休館日** 火曜日・祝日の翌日(休日を除く)
- 照会先** 関鍛冶伝承館 ☎23-3825

関の街の記憶～関のまちを語ろう～

昭和30年から50年代の市街地の様子を知る方々と、関のまちを語り合います。

- 日時** 12月17日(日)午後1時30分～3時
- 場所** せきでらす多目的ホール
※詳しくは12月号広報をご確認ください。

日本刀クッキーを作ろう!

日本刀と関鍛冶の歴史を学びながら、日本刀クッキーにアイシングで刃文を描きます。

- 日時** 令和6年1月8日(月・祝) 午後1時30分～4時
- 場所** せきでらす多目的ホール **参加費** 1人500円
- 定員** 20人(事前申込制・先着順)小学4年生以上
※詳しくは12月号広報をご確認ください。